

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長 通信
大潟村立大潟中学校
令和7年9月2日(火)発行
NO.3 文責:小玉 克男



令和7年度全国学力・学習状況調査の結果を報告します！

3年生を対象として4月17日(木)に行われた全国学力・学習状況調査の結果が、7月下旬に公表されました。今年度は国語、数学、理科の3教科が実施されました。新聞やテレビ等の報道ですでにご存じのことと思いますが、秋田県は、各教科ともに今年度も全国平均を上回る結果となりました。本号では本校の結果をお伝えします。

教科の調査結果

教科平均正答率(%)

I R Tスコア

※ホームページ上では、この資料は掲載しません。

※理科はタブレットで回答するC B T (Computer Based Testing) という方式で実施され、実験や観察の動画を見て答えさせるなど、新しい形式の問題が出されました(国、数も2027年度から導入予定)。C B Tでは複数の問題セットを用意し、生徒ごとに異なる種類の問題を解きます。幅広い領域の問題を出題でき、一度の調査で様々な知識を問えるようになりました。出題する問題が異なっても結果を同じ尺度で測ることができるI R T (Item Response Theory 項目反応理論) を活用することで、結果の経年比較が可能になりました。全体の平均正答率は算出されず、500を基準とするI R Tスコアが示されています。

各教科とも、全国平均、秋田県平均よりも上回っていて、学習内容の定着状況は良好であると言えます。しかし、次の問いでは、正答率が低く、課題と言えます。

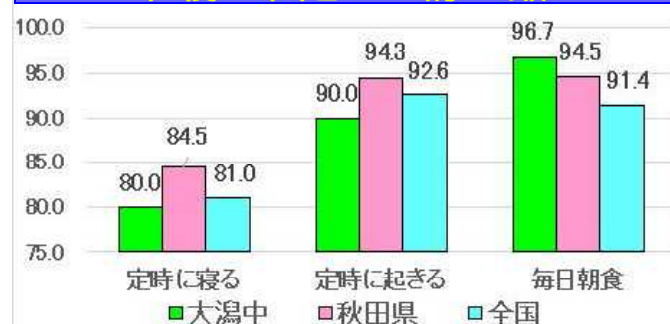
- 国語
- ・ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く。
 - ・手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く。
- 数学
- ・40%の飲み物a mLに含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す。
 - ・一次関数 $y = 6x + 5$ について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める。
- 理科
- ・地層の性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する。
 - ・【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する。

国語では、自分の考えを文章で表現する力、数学では、式の意味を読み取って数学的表現を用いて説明する力、理科では根拠をもとにして考えたり、科学的に表現したりする力について課題が見られました。各教科において、論理的に考えたことを書いたり、説明したりするなど、「思考力・判断力・表現力等」をより一層伸ばす授業を展開する必要があります。

質問紙調査の結果

(1) 基本的な生活習慣や学習習慣等

早寝・早起き・朝ご飯



自分で学び方を考え、工夫している



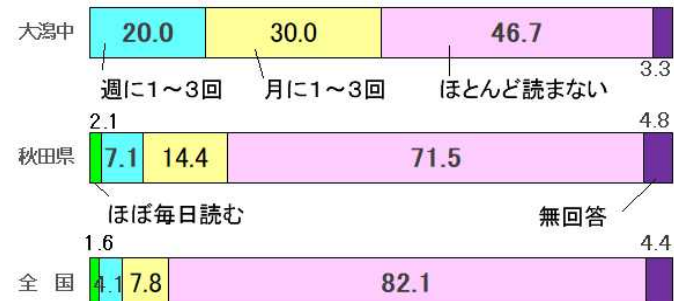
平日の家庭学習時間



土日、休日の家庭学習時間



新聞を読んでいる



話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広めたりしている



早寝・早起き・朝ご飯については、「毎日朝食を食べる」という設問が全国平均を上回りましたが、それ以外は県、全国を下回る結果となりました。基本的な生活習慣については、定着していない生徒が数名いるようです。

自分で計画を立てて家庭学習をしている生徒の割合は、県、全国と同じような傾向ですが、「できている」と回答した生徒の割合は県、全国を上回る結果となりました。家庭学習の時間は、平日は1~2時間、休日は2~3時間という回答が多く、全体として見ると、県や全国より学習時間が多いようです。学習時間が不足している生徒も見られますが、部活動を引退した現在はこの時間より多くなっているのではないのでしょうか。

新聞を読む機会は、例年同様、県、全国を大きく上回っています。本校では、各学級に毎日1部ずつ秋田魁新聞を配付していますので、今後も、より多くの生徒が手に取って新聞を見る機会を多くできるよう、活用方法を検討したいと思います。

話し合い活動については概ね良好ですが、話し合い活動に消極的な考えをもっている生徒もいるようです。協働的な学習を通して新しい価値を生み出す資質・能力の育成に向けて、授業の中での話し合い活動を充実させていきたいと思っています。

(2) 道徳、総合的な学習の時間

道徳の授業で自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる



総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる



道徳の授業や総合的な学習の時間への取組については、大変良好な結果となりました。本校の学校教育目標にある、「思いやりの心」「自ら学び」の育成に大きく関わっている項目ですので、今後も授業改善を一層進めていきたいと思っています。

－ 裏 面 に 続 く －

(3) 自分自身について



自分には、よいところがある



将来の夢や目標をもっている



人が困っているときは進んで助けている



いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う



「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「人が困っているときは進んで助ける」という、自己有用感に関する設問については、県や全国と同じ傾向、あるいは肯定的な回答の割合が高くなっています。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」については県や全国よりもよい傾向にあります。今後も、生徒指導の4つの視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を意識した実践を積み重ねて生徒の自己指導能力を高めるとともに、道徳の授業を要として学校の教育活動全体を通じて道徳性を育んでいきたいと思っています。

(4) 目指す人間像について



人の役に立つ人間になりたい



地域や社会をよくするために何かしてみたい



「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の設問については、県や全国と同じ傾向でした。本校では「地域に根ざしたキャリア教育」を学校経営の大きな柱とし、キラキラ塾など、地域の方々を先生とした様々な体験活動を取り入れています。家庭、地域の方々のお力をお借りしながら、生徒一人一人がそれぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を図ってきたいと思っています。

(5) その他



学校に行くのは楽しい



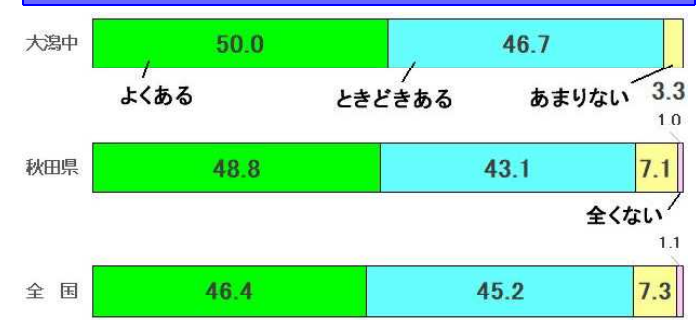
友達関係に満足している



自分と違う意見について考えるのは楽しい



普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある



これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあった



地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらった



どの設問についても、県や全国と同様または上回る結果となっています。特に、「自然の中で遊ぶことや自然観察をすること」「地域の大人に関わってもらった」の設問では、県や全国よりも大変よい状況になっていることが分かりました。本校の取組だけでなく、ご家族の関わりや地域の行事等への参加などにより、豊かな体験ができているのではないかと思います。

□今後の取組について

教科の調査および質問紙調査全体を通して、本校の生徒は学習面、心情面で、比較的良好な状態にあると考えられます。本校での各教科等の授業や、学校行事などが効果的に作用しているとともに、各ご家庭や地域の教育力が生徒にいい影響を与えているのではないかと思います。今後も生徒のよりよい成長に向けて、指導の充実を図りていきます。ただ、基本的な生活習慣については、改善する必要があると捉え、効果的な指導について検討し、実践していきたいと思っています。なお、各設問について否定的な回答をしている生徒には、個別に話を聞く機会を設けるとして、対応していきます。今後とも、本校学校教育へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

